

12月 定例会

10議案を可決、同意

第490回定例会12月議会は、平成28年12月2日から13日まで、12日間の日程で開きました。町長提案の平成28年度一般会計補正予算、諏訪広域公立大学事務組合の設置、指定管理者の指定（2件）など10議案を審議し、全議案を原案通り全会一致で可決、同意しました。一般質問は10人の議員が登壇し、町政について質しました。

平成28年度一般会計補正予算

歳入歳出
それぞれ

8,039万円増額

予算
総額

71億3,709万円

主な補正内容（千円以下は切り捨て）

総務費

- ◆町有地維持管理費 671万円
- ◆行政情報ネットワーク事業 14万円
- ◆防災行政無線費 13万円

民生費

- ◆5保育園備品購入費 108万円
- ◆臨時福祉給付金（経済対策分） 112万円

衛生費

- ◆検診検査委託料（婦人検診） 33万円

教育費

- ◆一般経費（富士見小） 446万円
- ◆大規模改造事業 3,460万円
- ◆中学校費（富士見中備品購入） 117万円

中部横断道の早期開通を要望

議会提案の意見書可決

富士見町議会は、総務経済常任委員会が提出した中部横断自動車道の早期開通を求める意見書を全会一致（棄権1人）で可決し、衆参両院議長、内閣総理大臣らに送りました。

また、清水港に入港する大型客船の国内オプショナルツアーを長野県内に呼び込むことも可能となります。静岡県側は、「長野県と連携して豪華客船を誘致したい。体験型ツアーをプランニングしたい」と意欲的です。こうしたことから町議会は、両県の連携、工業・観光事業の拡大など幅広い産業への影響を鑑み、中部横断道の早期完成、開通を求める意見書を可決しました。

中部横断道は、新清水JCT増穂IC間の約58キロが未完成です。完成は当初予定より2年遅れの平成31年度となる見通しです。開通による諏訪地方への経済効果は大きく、静岡市の清水港と諏訪地方の往復所要時間は、現状の約6時間から4時間以内となり、諏訪地方から海外への輸出入に関わる輸送時間は、東京港や名古屋港を利用

町有地維持管理費 移住定住者の増加に対応し、富ヶ丘団地内の合併浄化槽を撤去し、宅地にします。撤去費用671万円を盛りました。宅地の購入希望者は来年度公募します。

5保育園備品購入費 3歳未満児の入園希望者が急増しています。新年度は5保育園で87人の受け入れを予定しているため、備品を購入して対応します。

検診検査事業 婦人検診の受診者が増加したことに対応し、委託料33万円を増額しました。

農業経営基盤強化促進対策事業 三つの補助金を交付します。「産地パワーアップ事業」はトップリバーのレタス産地化に向けて、乗用管理機、草刈り機などの購入費から2分の1以内で補助。「経営体育成支援事業」は事業費の3分の1以内で補助。「担い手確保経営強化支援事業」は新規就農のイチゴ栽培農家の栽培ハウス建設費を2分の1以内で補助します。

大規模改造事業 富士見小、境小のトイレ改修費で、平成29年度に繰り越して実施します。